

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書

(自 令和 4年10月 1日 至 令和 5年 9月30日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人^{俊友}○○会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 静岡県清水区中矢部町3番15号

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 3年10月21日

(4) 設立登記年月日 平成 3年10月21日

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開 設 場 所	許可病床数
診療所	浅井内科医院	2 2 1 3 2 1 0 6 1 6	静岡県清水区中矢部町 3番15号	なし

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 4年11月20日

令和3年度決算の決定

様式 2

法人名 医療法人社団俊友会
所在地 静岡市清水区中矢部町 3 番 1 5 号

※医療法人整理番号					
-----------	--	--	--	--	--

財 産 目 録
(令和 5 年 9 月 3 0 日現在)

1. 資 産 額	67,119 千円
2. 負 債 額	2,514 千円
3. 純 資 産 額	64,605 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	63,706
B 固 定 資 産	3,412
C 資 産 合 計 (A + B)	67,119
D 負 債 合 計	2,514
E 純 資 産 (C - D)	64,605

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。	
土 地	(<input type="checkbox"/> 法人所有 <input checked="" type="checkbox"/> 賃借 <input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(<input type="checkbox"/> 法人所有 <input checked="" type="checkbox"/> 賃借 <input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3-2

法人名 医療法人社団俊友会
所在地 静岡市清水区中矢部町 3 番 1 5 号

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表
(令和 5 年 9 月 3 0 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	63,706	I 流 動 負 債	2,514
II 固 定 資 産	3,412	II 固 定 負 債	
1 有 形 固 定 資 産	2,377	負 債 合 計	2,514
2 無 形 固 定 資 産	72	純 資 産 の 部	
3 そ の 他 の 資 産	961	科 目	金 額
		I 出 資 金	6,000
		II 積 立 金	58,605
		純 資 産 合 計	64,605
資 産 合 計	67,119	負債・純資産合計	67,119

様式 4 - 2

法人名 医療法人社団俊友会

※医療法人整理番号

所在地 静岡市清水区中矢部町3番15号

損 益 計 算 書
(自 令和 4年10月 1日 至 令和 5年 9月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	102,379
2 事業費用	105,239
本来業務事業損失	△ 2,860
事業損失	△ 2,860
II 事業外収益	328
経常損失	△ 2,531
税引前当期純損失	△ 2,531
法人税等	
当期純損失	△ 2,531

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
 2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。